へ13
2378
158

遠13
2378
158

文化十年

第四編目

序言　執行金草鞋　緒言

[illegible]年金草鞋出来表紙[illegible]京大坂より至る[illegible]諸国[illegible]の記[illegible]より伊勢参宮[illegible]その旅行[illegible]の金草鞋山[illegible]指[illegible]江戸[illegible]

[illegible]の雪[illegible]の下[illegible]高[illegible]大坂[illegible]

[illegible]大和屋[illegible]永宿[illegible]金[illegible]船[illegible]合[illegible]

[illegible]委細[illegible]形[illegible]

形沢[illegible]波九亀

水主日[illegible]

大[illegible]屋清三郎

負　和三　八八

右[illegible]任[illegible]九亀[illegible]一人[illegible]

九亀[illegible]安[illegible]鳴[illegible]

宮[illegible]小倉[illegible]

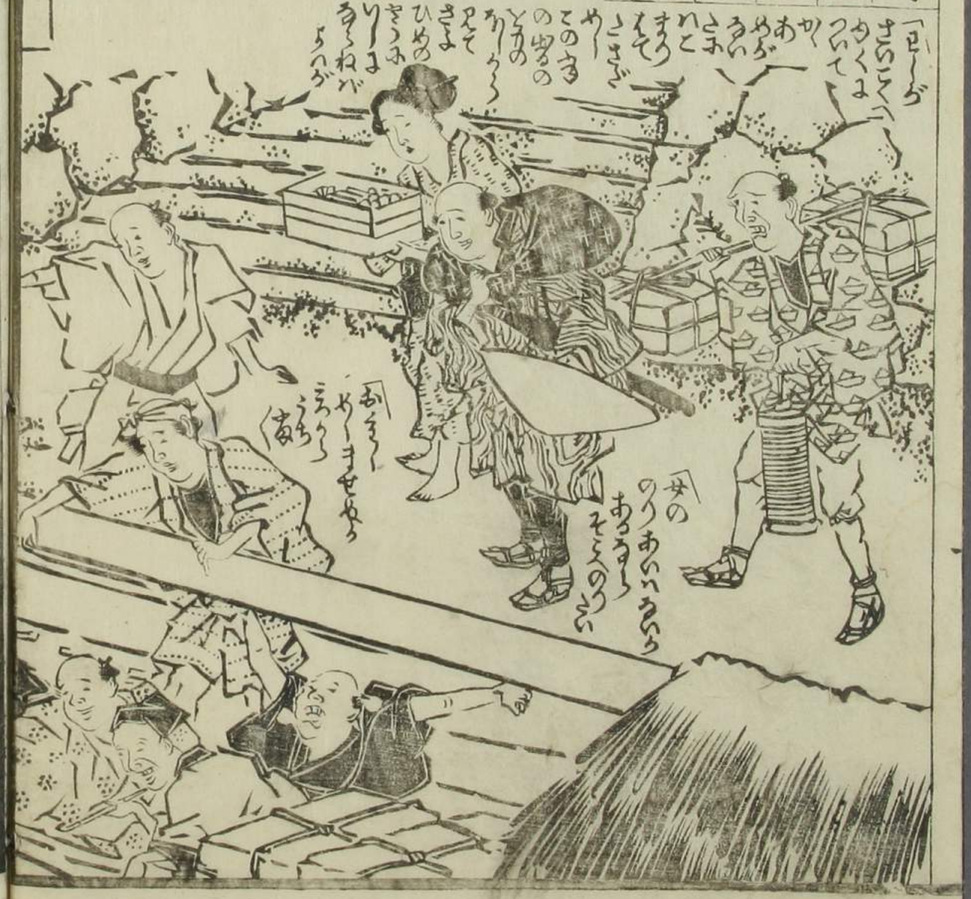
[illegible]八[illegible]

但[illegible]

一日[illegible]合[illegible]

從大阪西國海路

摂列大阪より三里尼崎
二里西宮立里兵庫三里
須ヶ一里舞崎二里播
列明石二里江崎三里
高砂三里亀嶋二里
鞍掛五里室三里赤
穂水崎三里備前大
田武四里牛窓二里寄
木崎一里犬嶋三里
出崎一里潮通一里
日比三里下津井三里
備中水嶋四里備後
白石三里鞆一里宍木
一里半挑嶋三里江崎
三里海布苅三里安



執野内一里多田
文一里高崎三里唐
船二里日間泊一里高
島三里蒲刈三里亀
首二里加呂宇戸三里
津和野二里周防田
宇三里家室七里上
関二里蕨司三里室
積一里水無瀬二里
笠立戸二里須雲一里
金崎五里三田尻

大阪より伊予の白石まで八
潮満干ありて白石より蕨司まで八
里ありて蕨司より三田尻まで
潮満干ありて三田尻より伊予

金昆羅船出帆

尼カヂキ
ヲ千川
木つ川
天王寺
茶臼山
高トウロ
住吉
サカイ

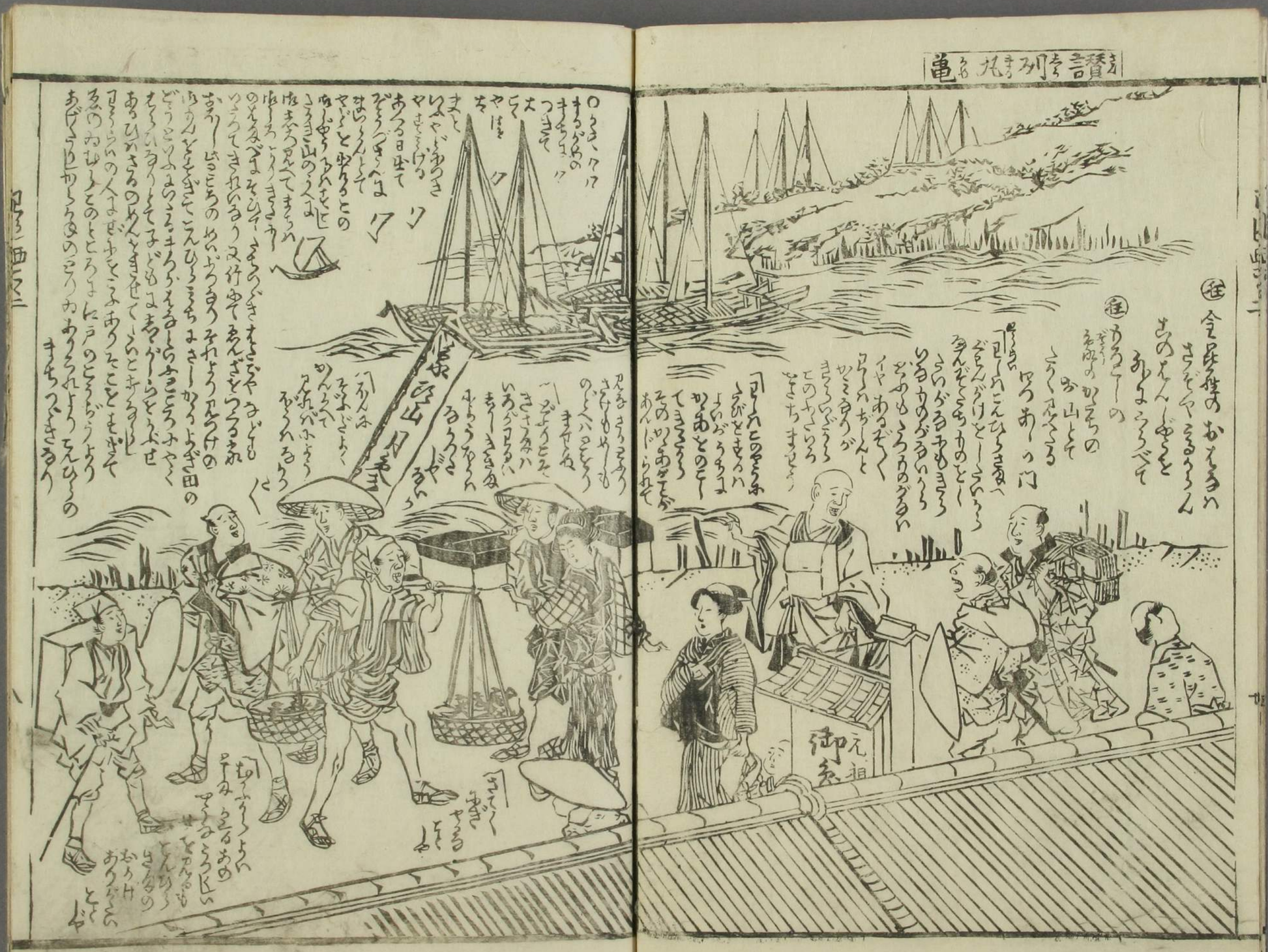
西のまつ
京屋
岸和田

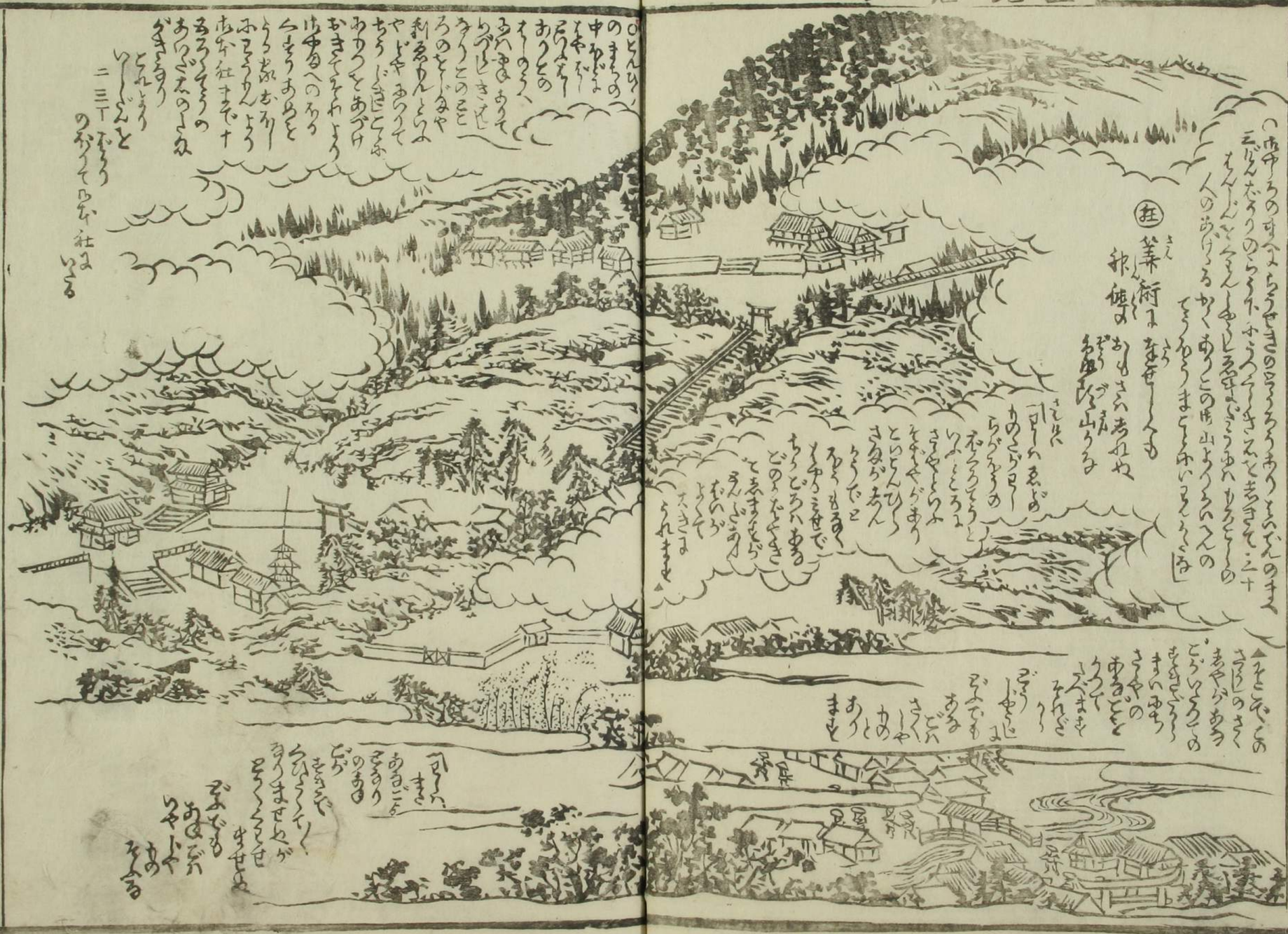
橋
馬サキ
イハド
カマリ
ツシヨ
ヨガハ
ウライ
ブンノ川
ミナト
カミシマ
大ナルト
小ナルト
高サコ

むろ
まつや
あがり
るた
ちくさき
ひけ田
三本松

備前
あくら
ちくろ
小豆しま
八ちく山
ちくろ
古そ松
まんど
比田
つるえ

児島
日比
庫山
高松
めさき
ふつこ
大つこ
きこし
おさこ
てこ
伯耆入口
安戸口
下つ丹
丸亀の仲


御糸元祖



釵五山孫谷寺

○かてもんとなとりてうのさやぐらのひざうのうえまぐりてせんつうじへゆくこれはこれくちなくせんぐうじさんけいしゆんぜんやのちうやしきなどやゆうなけいやゆうやとやまてやまもむこうみるまんぐうじまつうとうこれをきてさうろうとのうしろのあごろのうしさまちやうるあんぎやうきまつとれとうのうれんぎやうけいこのうれんあつうとかんとのいこやとなあつうえだうれまつうとうすうのの

「さてくおもひがけなくあづかいところをこれうこれがのつまりのさくがそこそこころで

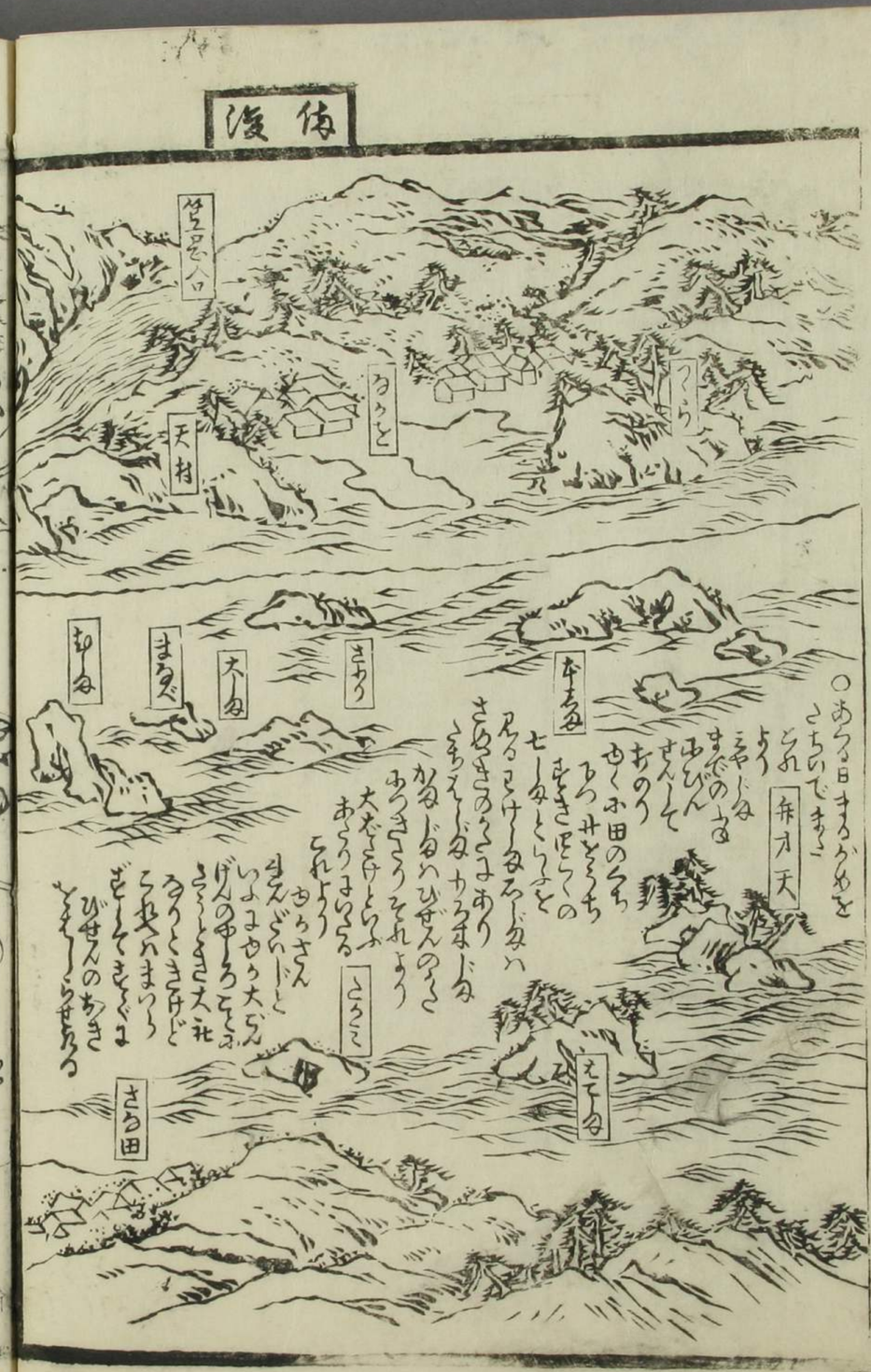
よいものろんでとろうとるとさくあとさるんでおくさ

「とかくいつたのてはこてとまとろてやうがさるようてくおうらそふさるとなのはしてるまりをさるまとのうへ

在 名所一覧

ひやうぶのうしをとがめるとがめるとがめる

せんまい
あしの名
布佐
おちこ
えこの岬


天村
さる田

備後国鞆小松寺松

○ある日ちとをのぐるまを
ゑべのくるまとてきまのの白こを
とれのこのこのとろあぶとゆくをを
をれのこのこのとろあぶとゆくをを
ちまきあぶとゆくをを
ちまきあぶとゆくをを
ちまき

三原
尾道
山伏ヒと
大ノ名
唐松集
川の名
つくーな

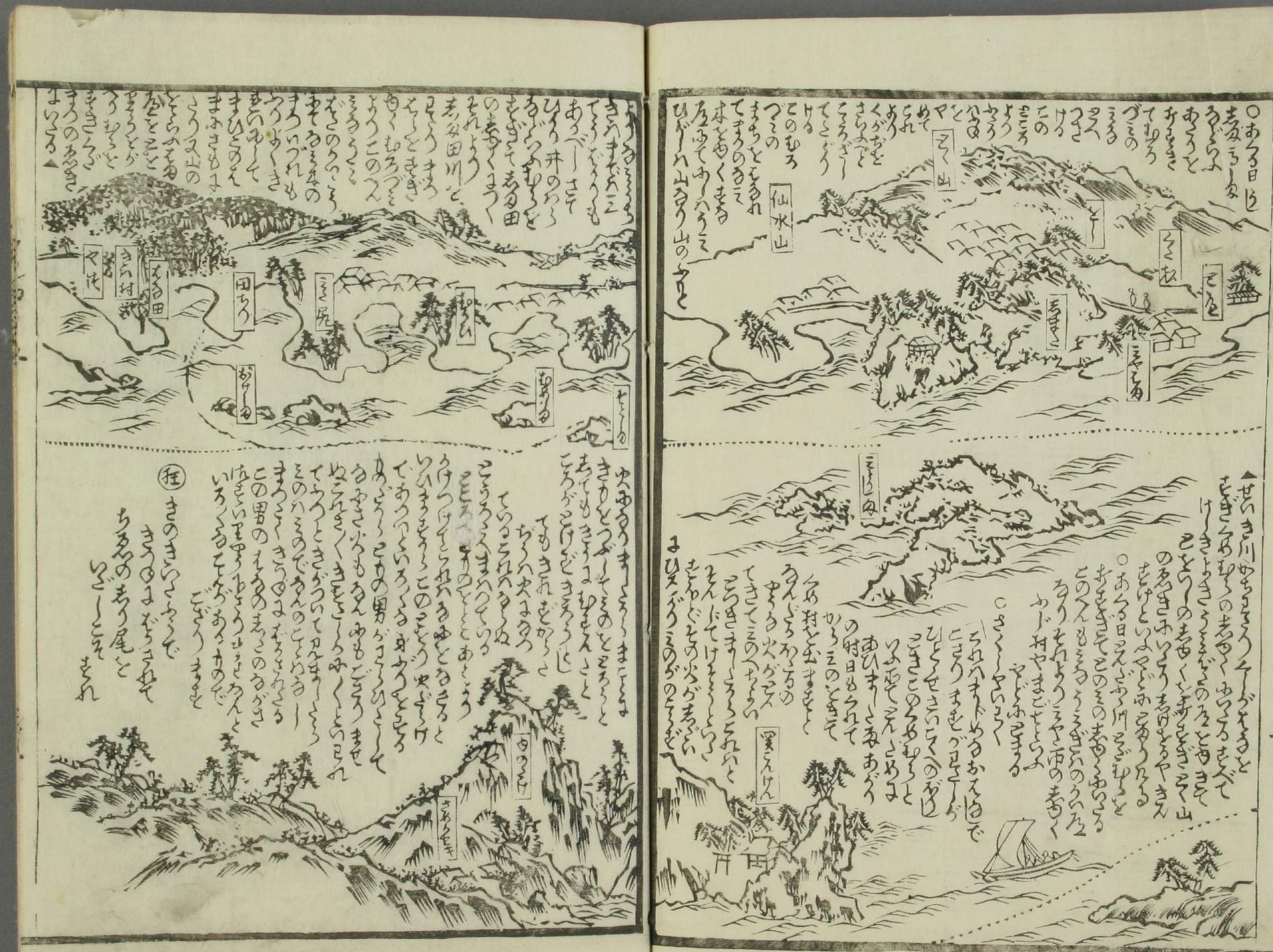
ようろ
ごろく
ごろくさき
上いろ
よこーな
大さき
川村
むらち
とて山
ゑん町
尾ーな
七ゝ田
岩舟
のうし
ひろう
ゑのうら

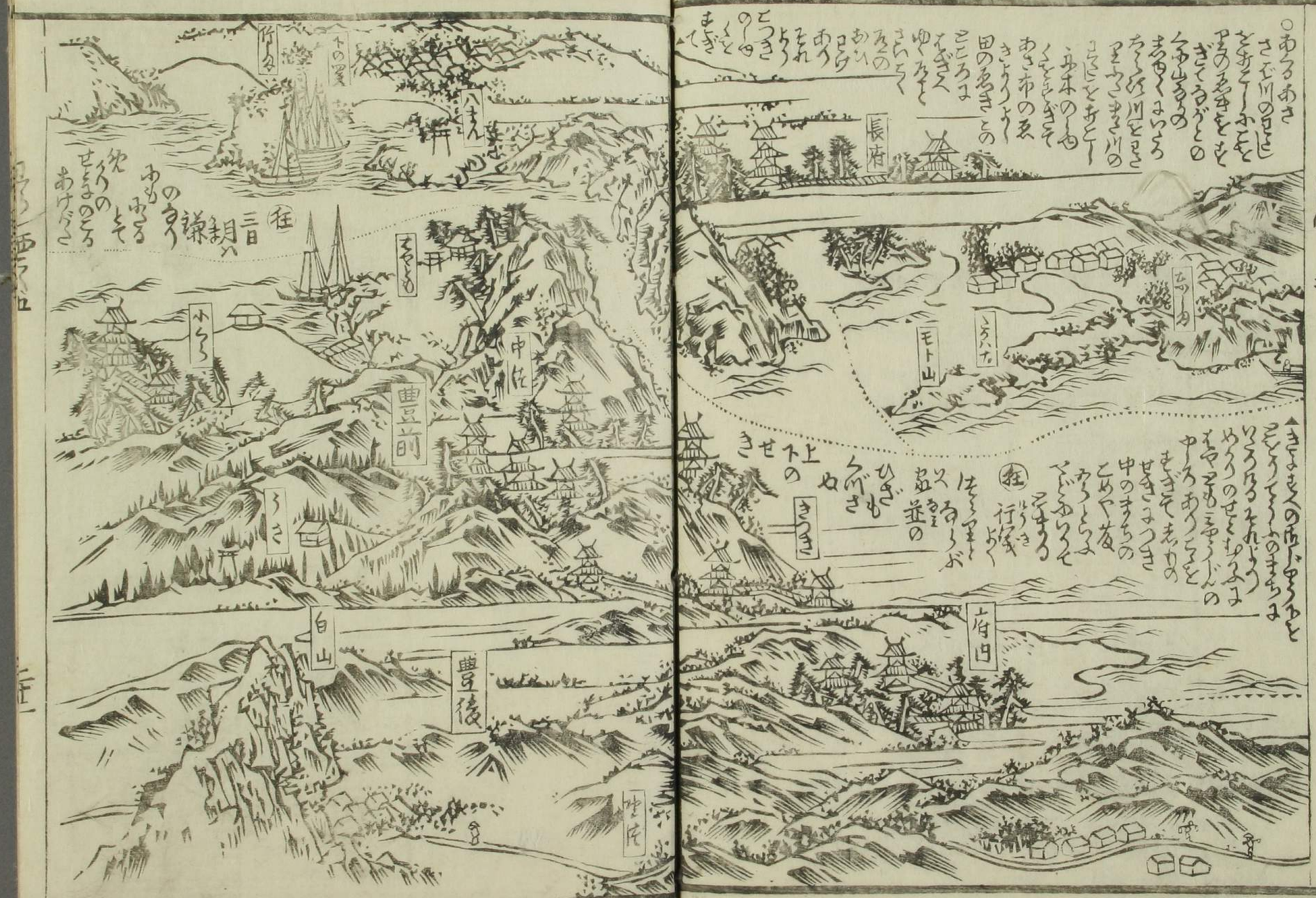
おと
中くま
いろ
ゆくま
よこくま
あさきせより
ひの
只一くま
大くま
大や
ゆくま
ひろくま
大ゆさけ
小ゆさけ
ゆくま
あさくま
あさきのくま

ふしみ
ちのれあ
えどる
羽ち
大川
大ふみ
あみ
ひらかた
伊勢

つくもう
ゆう
ひらう井
せんそうぐみ
うろう
うろうあう

吉田
しろうと
もくし
上のせき
きしま
えハしま
いはしま


仙水山


長府
モト山
上の関
豊前
豊後
白山
中津
八幡
行橋

宇佐八幡宮

ワイメ
サンカ
小石サキ
若山
中ノシマ
彦山
シラヲ

筑前
シラハナ
センケ
秋月
カヂカカキ
ヒノシマ
カサトハナ
アソ

高葉烏之畫

古の烏紀前統後の国おおり
尋常の烏よりハ形ちへさく
白き文あり里人の庭樹あるひ
林中ハ群集をなす
形容美人ニ類

延高

狂 人間の
あるあり
かしこさハ
天性の
愛き
烏

狂 日のりと
貪あるる烏
多類烏
雪の
しろさハ
千人良坊

ちくご川
筑後
久留米
佐吉
柳川
山門
星
月
雲
雨
風
雷
雪

肥前
唐津
ナゴヤ
カリヤ
ムク
カラスサキ
大くま
長崎
西山

クロキ
九十九カ
イシモリ
センセ
ヒタチ
平戸
セトウ

崎陽魚山町

江戸　十返舍一九著　歌川豊国画

近頃雪雪とゝなるめ稗史通しゝ表題して新古稗史の作者画子のあとを継写まゝ歴年と称ひしは遠く遠格して偽誤のことを編全集ゝとして稗史通して稗史不通ゝ号ゝ号ゝと切やきの書ものや曽折換ゆ対きけく仏ゝ為るゝ虚をはゝふをゝ年著述をゝ虚をもゝて虚をはゝふをゝ年著述をゝ虚